



 **MASTER**

**RGB DISTRIBUTOR**

**KD0106A0V1**

**取扱説明書**

お買い上げいただき誠にありがとうございます

製品をご使用される前に必ずお読みください

# ご使用上の注意

ご使用前に、必ずこの「取扱説明書」をお読みください。  
お読みになった後は、必ず装置の近くの見やすいところに大切に保管してください。

警告



- ・この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意



- ・この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、傷害を負ったり物的損害が想定される内容を示しています。

## 絵表示の説明

注意（警告を含む）  
が必要なことを示す記号



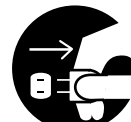
一般的注意



手をはさまれる



一般的指示



プラグをコンセントから抜く

してはいけない行為  
（禁止行為）を示す記号



禁止



水ぬれ禁止



水場での使用禁止



分解禁止



接触禁止



ぬれ手禁止

万一、製品の不具合や停電などの外的要因で、映像や音声の品質に障害を与えた場合でも、本製品の修理以外の責はご容赦願います。

# 警告

## 万一、次のような異常が発生したときは、そのまま使用しない

火災や感電の原因になります。

- ・煙が出ている、へんなにおいがするなどの異常のとき。
- ・内部に水や物が入ってしまったとき。
- ・落としたり、キャビネットが破損したとき。
- ・電源コードが傷んだとき (芯線の露出、断線など)。



このようなときはすぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いたあと、本製品を設置した業者又はメーカーに修理を依頼してください。

お客様ご自身が修理することは危険です。絶対にやめてください。

## 不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所には置かないで下さい。  
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。



## 表示された電源電圧 (交流 100 V)以外で使用しない

火災や感電の原因となります。



## 内部に物を入れない

通風孔などから金属類や燃えやすいものなどが入ると、火災や感電の原因となります。

## ぬらさない

火災や感電の原因となります。



## 雷が鳴り出したら、電源プラグにはふれない

感電の原因となります。



## 電源プラグは、すぐ抜ける場所にあるコンセントに差し込む

本機に異常が発生したときに、電源プラグをコンセントからすぐ抜けるようにしてください。

## 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む

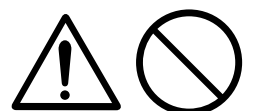
ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。  
また、たこ足配線はしないでください。



## 電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- ・電源コードを加工しない。
- ・無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない。
- ・電源コードの上に機器本体や重いものをのせない。
- ・電源コードを熱器具に近づけない。



# 注意

## 次のような所には置かない

火災や感電の原因となることがあります。

- ・湿気やほこりの多いところ
- ・油煙や湯気の当たるところ
- ・熱器具の近くなど
- ・窓ぎわなど水滴の発生しやすいところ



## 他の機器と接続するときは、接続する機器の電源を切り、それぞれの取扱説明書に従う

指定以外のコードを使用したり、延長したりすると発熱し、火災、やけどの原因となることがあります。



## 通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部の熱が逃げないので、火災の原因となることがあります。

- ・横倒し、逆さま（あおむけ）にしない。

通風孔をふさいだり、すき間から異物を差し込まないで下さい。故障の原因となることがあります。



## 移動するときは、電源プラグや接続コード類をはずす

接続したまま移動するとコードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。



## この機器の上に重い物を置かない

重いものや本体からはみ出るような大きな物を置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりしてけがの原因となることがあります。



## 長時間使用しないときは電源プラグを抜く

安全および節電のため電源プラグを抜いてください。



## お手入れをするときは電源プラグを抜く

電源が「切」でも機器に電気が流れていますので、感電の原因となることがあります。



## 電源プラグはコードの部分を持って抜かない

電源コードを引っ張るとコードに傷がつき、火災・感電の原因となることがあります。プラグの部分を持って抜いてください。



## ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。



# 目次

1 . 製品概要	1
2 . 主な特長	1
3 . パネル説明	2
4 . ケーブル補償回路及び TTL/75 の設定	3
5 . 主な仕様	4
6 . 使用例	4

## 1. 製品概要

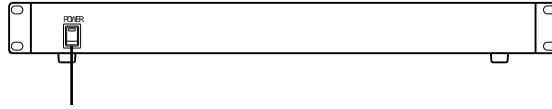
本製品はコンピュータやハイビジョン等の超高解像度の画像を分配します。  
またケーブル補償回路内蔵の機種は延長分配器としても使用できます。

## 2. 主な特長

- ・ コンピュータのUXGA画像まで対応しております。
- ・ 高さはEIA規格ラック1Uサイズになっていますので、設置に場所をとりません。

### 3 . パネル説明

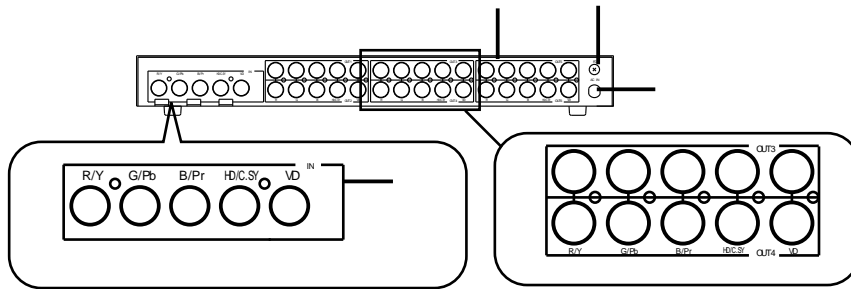
#### A.前面パネルの説明



##### 電源スイッチ (POWER)

電源コードをコンセントに差し、このスイッチをONにすることで、電源表示（緑のランプ）が点灯し、電源が入ります。

#### B.背面パネルの説明



##### 入力端子 ( R/ Y, G/ Pb, B/ Pr, HD(C.SY), VD INPUT)

コンピュータ、スキャンコンバータなどのRGB映像信号、HD VD同期信号を入力します。

##### 出力端子 ( R/ Y, G/ Pb, B/ Pr, HD(C.SY), VD OUTPUT)

本体底面にあるDIPスイッチの設定により、無補償または補償のかかった信号が出力されます。KD0106A0V1では6分配 ( OUT1 ~ OUT6 ) されます。

##### FG端子

フレームグラウンドです。

##### 電源入力

AC100V( 50Hz・60Hz) に接続します。

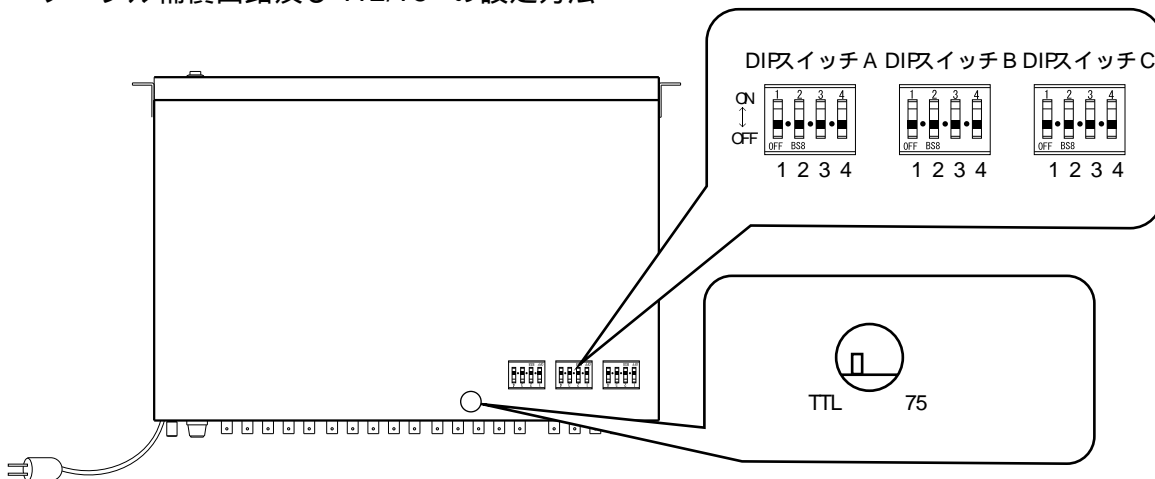
#### 4. ケーブル補償回路及び TTL/75 の設定

入力端子につなぐ同軸ケーブル（信号源（コンピュータ）と本体をつなぐケーブル）の長さにより、ケーブル補償回路（底面にあるDIPスイッチ）の設定を行います。設定によりケーブル延長の際に起こる信号の劣化を補償することができます。5C2ケーブルを用いた場合に最大75mまで信号の補償をすることができます。

注意 1: 過補償にした場合、モニターなど接続された機種 of 信号処理回路が飽和して正常な映像が得られないことがあります。

注意 2: 1組の出力端子（R/ Y, G/ Pb, B/ Pr, HD/C.S/ VD）につなぐ5本のケーブルには、すべて同一規格で長さの同じ物を使用してください。異なる場合、正常な映像が得られないことがあります。

#### ケーブル補償回路及び TTL/75 の設定方法



#### DIPスイッチの設定

スイッチは本体底面にあります。

スイッチ 2,3は使用しません。（ON OFFどちらでも回路には影響しません。）

同軸ケーブル長 目安		DIPスイッチ（A,B,C全て設定）	
3C2V	5C2V	1	4
10m以下	15m以下	OFF	OFF
10m~ 30m	15m~ 45m	ON	OFF
30m~ 50m	45m~ 75m	OFF	ON

初期設定は1,4共にOFFになっています。この時の信号は無補償です。

（注意：スイッチ 1と4をどちらもONにはしないでください。3つあるDIPスイッチ A B Cは必ず同一の設定にしてください。正常な映像が出力されません。）

ケーブルは弊社指定のものをご使用下さい。詳細については、弊社サービス窓口までお問い合わせ下さい。

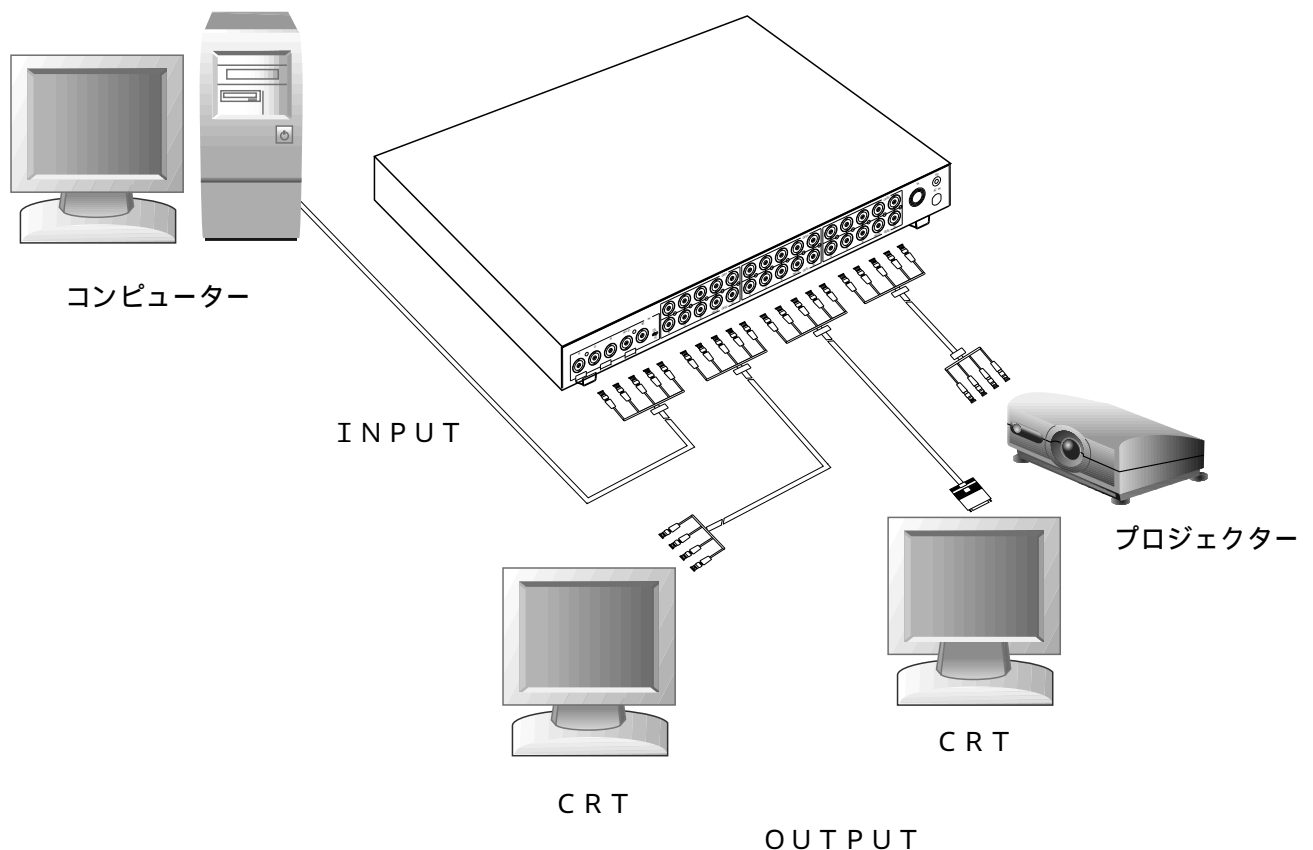
TEL 0424-83-4193  
e-mail i-master@kowa.co.jp



## 5. 主な仕様


機種	KD0106A0V1
入力チャンネル数	1
出力チャンネル数	6
入出力コネクタ	BNC
入力信号	アナログ R,G,B: 1.0Vp-p75
出力信号	HD,VD: TTL又は 1.0Vp-p 75
信号帯域	40Hz~ 100MHz $\pm$ 1dB, 250MHz -3~ +1dB
補償ケーブル長	5C-2Vの場合 15m以下、15m~ 45m 45m~ 75mの3段階
使用温湿度条件	温度: 0~ 40 湿度: 20~ 80%(但し結露しないこと)
電源電圧	AC100V $\pm$ 10% 50/60Hz
消費電力	約 6W
外形寸法	W421x D300x H44 (1U) mm
重量	約 4kg

## 6. 使用例



 I-MASTER

I-MASTERは興和の業務用映像機器の総称です

 興和株式会社 情報通信事業部

営業本部：〒182-0021 東京都調布市調布ヶ丘3-3-1 TEL.(0424)83-4193 FAX.(0424)86-3461

大 阪：〒541-8511 大阪市中央区淡路町2-3-5 TEL.(06)6204-6186 FAX.(06)6204-6188

開発本部：〒182-0021 東京都調布市調布ヶ丘3-3-1 TEL.(0424)83-4129 FAX.(0424)43-6560